

第 200 号 発行日 平成 25 年 9 月 4 日

# 合格通信

今  
月  
の  
名  
言

あなたが何を言うかは、さして問題ではない。重要なのは、あなたが他のひとに何を思い描かせるかである。

— ラニー・バッシュム —  
(アメリカ経営者)

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

## 富士山合宿ツアーを終えて

2泊3日のツアーが無事終了しました。ツアー中は好天にも恵まれ、最終日だけ到着時間が大幅に遅れましたが、とくに大きなトラブルもなく、みなさん観光と勉強を満喫できたようです。塾関係以外の参加者もいましたが、塾生の素行をみて「まじめな生徒さんばかりですね」とおほめの言葉をいただきました。

引率していただいたお母さん方にはバーベキューでの料理などはたいへん活躍していただき、ありがとうございました。またボランティアの大学生15名ほどにも勉強会、富士登山でずいぶんと助けられました。思いもかけないツアーでしたが、夏休みの最後の記憶に残る思い出となったと思います。



## 国語の勉強法④

勉強と日常生活のなかでの心がけは、けっして無関係ではない。日常生活の中で学んだことは、国語の学習の中で生かされる。

読書や国語が得意で、そのような感情が、自然に湧き上がってくるという人というのは、確かにいます。そのような人とはどんな人でしょうか。

その人はひと言でいえば、日ごろと考える習慣がついていれば、文章の中でそのような場面を読んだときにも同じ気持ちになります。

つまり国語という科目は、日ごろの心がけや、その人の性格などが、勉強の上で必ず現れる科目なのです。だから学校や塾での教科指導の中だけでは、向上させるのが難しく、あなた自身の生活態度、人に対する思いやり、もっと大きく言えば、生き方そのものを向上させていかなければなりません。

短期間でそのような資質を身につけることは、難しいことですが、あなたがもし、今これを読んで、あ、そうだな、その通りだなと思うのであれば、いまからでも、いつも人の気持ちやその場の状況を深く読み取り、何か自分のできることはないかと考え、行動する心がけを持っていますよう。

まずこのような態度を身につけ、その上で集中して文章を読む。繰り返し読む。辞書で言葉の意味を調べる。という基本的なことを心掛けていけば、必ず国語の成績は向上します。